



北原産業
代表取締役
北原 忠氏

器メーカーとして1967年(昭和42年)4月に創業し、今が51年目となります。

両製品の製造を行
い、企画から製造、印
刷、販売までをトータ
ル仕様の高級弁当「こと
べ行う一貫体制を強
化」の伸長が著しく、
同時に、今後もチャレン
ジ精神と豊かな想像力
の風合いを備えた特徴
最近は、紙ボックス
シリーズの中でも一段
紙製でありながら塗器

技術力と開発力を進化

超極薄嵌合カツプ容器が好評

ます、紙面を借りま
して去る5月23日に死
去された「エフビコ」
の創業者であり、代表
取締役会長として包装
産業の発展に多大に貢
献された小松安弘氏に
謹んで哀悼の辞を述べ
ました。残された我々は
県に生まれ 25歳で「福
山パール紙工」(現エフ
ビコ)を創業し、「一代
でトップメーカーへと
押し上げた経営手腕
常に目標とする存在で
いました。残された我々は

談話室

たいと思います。同じ小松で、業界人の一人として大切な方をしてくしたものと 思います。地元・岡山 市に生まれ、25歳で福山パール紙工（現エフ チック）で、薬販事業

業界の遺志を継ぎ、業界を盛りたてて、設立以来、常に何が必要とされるかを見極め、どこよりも一步早く取り組んできました。業界で初めてプラスチック容器と紙容器による総合食品容器をもとに、からだにやさしい「ホクサンスター」ブランドの食器の提案に努めてまいります。

的な製品との評価をいたたいています。独特の「ハイクレード感」が受け入れられ、高級弁当やデパ地下や料亭で販売する行楽弁当などに需要があります。

開発に5年を費やし、業界初の「漏れ」なく、閉めやすく、開けやすく、かく漏れにくい未来型「タイトカップ(スリーブ)」の発売に至りました。今後も当社の技術力を活用して、より一層の機能と繊細な密着性を兼ね備えた内外両面の開発に取り組んでまいります。

談話室

北原産業
代表取締役

北原 忠氏

まず、紙面を借りまして去る5月23日に死んでおられた「エフビコ」の創業者であり、代表取締役会員として包装業界の一人として大切な方を亡くしたものと想います。地元・岡山県に生まれ25歳で福山パール紙工(現エフビコ)を創業し、一代でトップメーカーへと押し上げた経営手腕は常に目標とする存在で、哀悼の辞を述べた。残された我々は

たいと思います。同じ食品容器に関連する業界の人一人として大切な方を亡くしたものと想います。地元・岡山県に生まれ25歳で福山パール紙工(現エフビコ)を創業し、一代でトップメーカーへと押し上げた経営手腕は常に目標とする存在で、哀悼の辞を述べた。残された我々は

さて、当社はプラスチックと紙の両方を生産販売する総合食品容器

設立以来、常に何が必要とされるかを見極め、どこよりも一歩早くして「ホクサンスター」

く取り組んできました。業界で初めてプラスチック容器と紙容器

60周年を目指し「食をうどこうです。」が受け入れられ、高級弁当やデパ地下や料亭で販売する行楽弁当などに需要があります。

技術力と開発力を進化

超極薄嵌合カップ容器が好評

化成品では「タイトカップ(スリム)」シリーズのラインアップを強化し、着実にマーケット深耕を図っています。スリムな嵌合と柔軟性を実現した技術が評価され、バリエーションも増加。引き続き

器メーカーとして1967年(昭和42年)4月に創業し、今が51年目となります。

独自の一貫体制、一步先ゆく姿勢を北原産

業の発展に多大に貢献された小松安弘氏に謹んで哀悼の辞を述べた。残された我々は

器メーカーとして1967年(昭和42年)4月に創業し、今が51年目となります。

独自の一貫体制、一步先ゆく姿勢を北原産

業の発展に多大に貢献された小松安弘氏に謹んで哀悼の辞を述べた。残された我々は